

## 女性防災学習・女性防災リーダー人材育成事業【中能登町】

個別事業費

66 千円

交付金額

33 千円

## 地域の実情と課題

- 1) 地域活動における町内会等の地域活動へ参加の割合として、男性の参加率は 61.8%、仕事や家庭以外の活動へ参加していない女性の割合は37.6%となっている。【第3期中能登町男女共同参画行動計画策定にあたってのアンケート結果参照】
- 2) 防災を含めた地域活動への女性参画、女性の指導的立場の積極的な取り組みをはじめ、コミュニティ団体の形成など女性活躍の場の促進を一層支援していくことが必要

## 事業の特徴

- 1) 能登半島地震を経験し、車いすなどの障がい者に対しての避難対応や心のケアなどにあった経験の講師を選定。
- 2) 災害でも誰ひとり取り残さないという理念を、学習内容とリーダー候補の人材に意識醸成させることを工夫した。
- 3) セミナーを聞いての満足度調査のアンケート実施

## 事業の効果

被災地における高齢者や障がい者の包括的な防災ネットワークの団体の必要性や今後の環境体制のスキルや意識向上につながった。

- 事業実績 参加者数20名(未達成) 目標50名
- KPI 満足度 90% 目標80%  
(達成:アンケート結果より)

## 目的・目標

能登の女性がほっと一息話せる場の提供として、中能登の女性有志団体「おしゃべり倶楽部」を中心に、も継続的な交流や防災学習の場の提供し、企業の枠を超えた人材交流を通じての情報交換やワークショップを通じて地域のネットワークを広げながら地域で「女性防災リーダー」を育成し、震災で受けた心のケアを図る。

## 連携団体

【各種団体名】中能登町女性協議会、中能登町教育委員会、中能登町社会教育委員会、中能登町公民館運営審議会、中能登町人権擁護委員会、金沢大学、中能登町区長会、中能登町商工会、石川県立鹿西高等学校、中能登町校長会、中能登町実年会、中能登町スポーツ推進委員会、中能登町青壮年協議会、中能登町役場

【連携方法】障がい者施設や介護訪問施設などに女性有志団体によるSNS配信サービスにて取組みやセミナー情報などを案内したり、町公共施設や小・中・高校にチラシなどの掲示や配布を実施したほか、仮設住宅に入居の方に個別にチラシを配布した

## 今後の課題

高齢者や障がい者の視点にたった防災の在り方や防災リーダーへのスキルアップのための内容を町防災計画とともに考えていく必要がある。

# 事業の概要

## ● おしゃべり倶楽部

### 【設置目的】

能登の女性がほっと一息話せる場の提供として、中能登の女性有志団体が発足【令和6年3月3日】

現在会員 10名(うち防災士3名)

能登半島地震の被災者に寄り添った心身リフレッシュの活動を実施。

【活動場所】JR能登部駅横 町民ギャラリーONIGIRI



## ● 女性防災学習・女性防災リーダー人材育成セミナー

### □女性防災学習・女性防災リーダー人材育成セミナー

令和7年3月13日

(1回目)13時から14時 (2回目)14時から15時の2回実施

#### 【事業内容】

講師:坂井さゆり(石川バリアフリーツアーセンター)

能登半島地震を経験し、車いすなどの障がい者に対しての避難対応や心のケアなどにあった講師が自身の体験談などを伝えるセミナーを実施。(逃げるバリアフリー取組みなど)

【目的】防災学習を通じた防災リーダー育成

【成果】参加者20名(1回目11名 2回目9名) うち防災リーダー候補4名



震災の体験談を語る坂井氏

#### 逃げるバリアフリーとは

避難は災害弱者対策を強化する必要がある

- ・ 心身障害者（肢体不自由者、知的障害者等）
- ・ 認知症や体力的に衰える高齢者
- ・ 日常的には健常者であっても理解力や判断力の乏しい乳幼児
- ・ 日本語の理解が十分でない外国人

